

土木学会 100周年記念シンポジウム

～災害多発地域・九州の災害を考える～



平成 26 年

11月 18 日(火)

アクロス福岡 7 階 大会議室

810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1

17:30～19:45 [17:00 開場]

裏面の参加申込書にてお申し込みください

参加無料
要事前申込

定員 150 名 (先着順)

シンポジウム プログラム

主催者挨拶

17:30

～17:35 塚原 健一 「安全な国土への再設計」 土木学会西部支部タスクフォース幹事長
(九州大学 西部地区自然災害資料センター長、工学研究院附属アジア防災研究センター長)

基調講演 「九州地域のこれまでの災害と今後の対応」

17:35

～18:00 善 功企 「安全な国土への再設計」 土木学会西部支部タスクフォース座長
(九州大学大学院工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門 特任教授)

パネル ディスカッション 「災害多発地域・九州の災害を考える」

18:00

～19:40 モデレーター 塚原 健一 「安全な国土への再設計」 土木学会西部支部タスクフォース幹事長

パネラー 井村 隆介 鹿児島大学 大学院理工学研究科 准教授

「九州の火山災害 ～噴火災害と土砂災害～」

角銅 久美子 防災どんたく実行委員会 相談役

「楽しみながら 防災意識を身につける」

笠間 清伸 九州大学 大学院工学研究院 准教授

「気象変動と土砂災害」

渡辺 亮一 福岡大学 工学部 准教授

「都市の水災害と水資源」

閉会挨拶

19:40

～19:45 平井 秀輝 「安全な国土への再設計」 土木学会西部支部タスクフォース副座長
(九州地方整備局企画部長)



本シンポジウムは、土木学会の継続教育 (CPD) プログラム [2.3 単位] に認定されています。

主催 土木学会西部支部、九州大学西部地区自然災害資料センター、九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター

